

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	観光施設管理事業				事業通番	4347	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町インフォメーションセンター条例 会津美里町雀林観光休憩所設置条例					
事務事業の概要	観光客が快適に利用できるように観光施設（トイレ、休憩所、インフォメーションセンター）の維持管理を適切に行う。					
対象（誰、何を）	観光施設の利用者					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	適切な施設の維持管理とサービスの向上により、利用者の増加を図る。					
成果の考え方	高田及び本郷インフォメーションセンターの利用者を把握することで、適切な管理やサービス向上の成果と捉え、Aの指標を設定する。					
【成果指標】					単位	
A	高田、本郷インフォメーションセンター利用者数（前年度（4～3月）入込数実績+5%を目標）					人
B	-					-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	18,807				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	18,807				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	23,784				
B	-				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	施設の維持管理を滞りなく実施できた
成果	施設が適切に維持管理された

3. 最終評価

成果の方向性	現状維持	(理由) 現状で大きなコストがかかる見込みがないため
コストの方向性	現状維持	(理由) 最低限のコストでの維持管理を図るため
今後の方向性	現状維持	(理由) 観光の拠点施設として、来客者の利便性、快適性を追求した維持管理が必要である

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	観光誘客事業				事業通番	4351	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画					
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、県や近隣市町村と連携して、町の特産品や観光をPRし誘客促進を図る。					
対象（誰、何を）	観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	関係機関と連携しながら、町の観光資源などの情報を積極的に発信することや観光客受入環境の整備により誘客を図ること、観光客がその情報を入手し来訪する。					
成果の考え方	A：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：17,000万円 町内の主要な観光施設や宿泊施設への聞き取りにより把握する。 B：会津美里町観光振興計画による。令和7年度目標値：16,600人 数値は、町内宿泊施設への聞き取りにより把握する。					
【成果指標】						単位
A 観光消費額						万円
B 町内施設宿泊者数						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	8,809				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	8,809				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	A	16,720			
B	4,680				
	16,400				
	6,712				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光アプリ「指さしナビ」を災害時の情報提供が出来るように改修した。 広域で連携し観光PRなどを行う複数の協議会の事業に加わることで、広域での観光PRを行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人や遠方からの観光客など、会津美里町に関する情報が不足している観光客に対し、受入環境を整備した。 広域で実施することで、町単独で実施するよりも効果的に観光情報をPRすることが出来た。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 観光需要を呼び込むうえで、成果の拡充が必要であるため
コストの方向性	拡大	(理由) ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた誘客事業の拡充が必要であるため
今後の方向性	有効性改善	(理由) 観光需要の回復を見込んだ事業展開が必要である

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	観光対策事業				事業通番	4358	
					開始年度	令和3年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	--	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画					
事務事業の概要	会津美里町観光振興計画の各種施策の実現に向け、観光協会が実施する各種イベントや観光ガイド活動等に補助を行うと共に、観光施設等の維持管理や観光資源の整備を行う。					
対象（誰、何を）	町民及び観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	的確な情報発信を行うことで、町のイベントや観光情報を知り、入込客数が増加する。					
成果の考え方	①イベント（ふれあい茶会、あやめ祭り、せと市、ワイン祭り、大俵引き、ヒルクライム、御田植祭、秋季祭礼）の入込客数を把握することで、観光協会の情報発信等の成果と捉え、Aの指標を設定する。 ②観光ガイドの実施回数を把握することで、着地型観光の成果と捉え、Bの指標を設定する。					
【成果指標】						単位
A イベントの入込数						人
B 観光ガイド実施回数						回

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	320,347				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	320,347				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	155,000				
	1,000				
B	89				
	14				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼ全てのイベントが中止となったが、次の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、イベントに頼らない周遊や宿泊補助など「GO TO MISATO」事業を展開した。 観光施設の美化作業を実施した。 観光素材等についての情報提供（電話による問い合わせ対応、パンフレット等の送付など）を行った。
成果	<ul style="list-style-type: none"> イベントの来場者数について、ほとんどイベントが中止となったが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、例年と違う形で実施した「せと市WEEK」では、1,000人の誘客が図られた。 観光ガイドの件数については、有料化や新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 観光で地域を振興していくためには、入込客数を増やす取り組みの拡充が必要であるため
コストの方向性	拡大	(理由) アフターコロナを見据えた観光振興を図るうえで、事業の多角化、拡大化は必要であるため
今後の方向性	有効性改善	(理由) 観光対策として、誘客を図ることができるイベント事業は有効である。 従来の単発型ではなく、地域経済へ波及効果が持続していくような事業展開が必要であるため。

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	温泉施設管理事業				事業通番	4362		
					開始年度	令和3年度		
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり		終了年度	令和7年度	
	施策	4-3	施策名	観光の振興		担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費		担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	温泉施設管理費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町公共施設等管理総合計画、会津美里町温泉施設利活用処分方針 会津美里町温泉施設等条例						
事務事業の概要	会津美里町公共施設等総合管理計画及び会津美里町温泉施設利活用処分方針に基づき、温泉施設の民間事業者への譲渡、貸付を推進する。令和3年度においては、温泉施設等の民間譲渡を推進するが、売却が困難と判断した場合は、他の用途への変更を含め施設の利活用処分の方針を決定する。また、高田温泉あやめの湯、新鶴温泉健康センター・宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴については、引き続き指定管理制度により運営する。						
対象（誰、何を）	町が所有する温泉施設及び宿泊施設(高田温泉あやめの湯、新鶴温泉健康センター・宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴)						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	① 民間事業者に譲渡する。 ② 民間譲渡が困難な場合は、温泉施設等の用途廃止後の施設の利活用処分方針を決定する。 ③ 適切な施設の維持管理とサービスの向上により、利用者の減少に歯止めをかける。						
成果の考え方	① 民間事業者への譲渡を行う。また、譲渡ができない施設は温泉機能廃止後の利活用処分方針を決定することが、町温泉施設利活用処分方針の目標であるため。 ② 適切な施設の維持管理とサービスの向上による利用者数の満足度の向上につながるため。						
【成果指標】							単位
A	利活用処分が実現できた施設数						施設
B	温泉施設の利用者数						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	97,905				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	97,905				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	3				
	0				
B	158,000				
	146,355				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 温泉施設等の指定管理委託料として、77,440,000円を支出した。 維持改修工事として、あやめの湯2箇所、新鶴温泉健康センター・宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴5箇所を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響により営業自粛期間を設けたため利用者数などは減少した。 新鶴温泉健康センター・宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴の売却について、公募要項を定めた。 高田温泉あやめの湯の廃止を前提とした住民説明会を実施した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 新鶴温泉健康センターの予備源泉ポンプに水中ケーブルや水位センサーを設置し、稼働中の源泉ポンプの故障に対応できる準備を整えた。ほか、温泉施設の老朽化した機械、設備などを新設・修理し利便性を向上した。 新鶴温泉健康センター・宿泊研修施設ほっとぴあ新鶴の売却について、公募を実施した。

3. 最終評価

成果の方向性	縮小	(理由) コロナの影響や近隣の施設との競合、利用者の高齢化により、利用者数が年々減少しているため
コストの方向性	縮小	(理由) 経年劣化によりコスト増大が見込まれるが、民間譲渡の推進により最低限の維持管理に努めているため
今後の方向性	段階的縮小	(理由) 施設の老朽化等により、将来的に維持コストの増大が見込まれることから、早い段階で民間譲渡を推進しているため

事務事業 事後評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	観光まちづくり推進事業				事業通番	14393	
					開始年度	平成27年度	
総合計画体系	政策	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	終了年度	令和7年度	
	施策	4-3	施策名	観光の振興	担当課名	産業振興課	
予算科目	会計	一般会計		款	商工費	担当係名	商工観光係
	項	商工費		目	観光費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町観光振興計画 会津美里町観光振興計画アクションプラン					
事務事業の概要	令和2年度に平成27年度に策定した会津美里町観光振興計画及び平成28年度に作成したアクションプランの改定を行った。その後期観光振興計画及び後期アクションプランの各種施策の実現に向け、既存組織や住民の協働による観光を通じた地域づくりを行うとともに、町の観光の推進体制を構築するため、事業を展開していく。					
対象（誰、何を）	観光客					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	入込客数の増加及び、町内での飲食や宿泊、買い物等により消費額拡大を図る。					
成果の考え方	会津美里町後期観光振興計画では、「一人当たりの観光消費額」と「観光施設における観光入込客数」を全体目標に掲げているため、以下の2つを成果として設定する。 A：主な観光関連施設から入込客数や売上額等のデータを集計し、観光消費額を把握する。 B：観光施設における入込客数（寺社参拝者、温泉施設等、観光消費額が発生しない施設を除く）を集計し、消費額の動向を把握する。					
【成果指標】						単位
A 一人当たりの観光消費額						円
B 観光施設における入込客数						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	3,117				
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	3,117				

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2,811				
	3,975				
B	5.3				
	1.1				

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光まちづくり推進協議会を2回開催した。後期観光振興計画の進捗と成果を確認しながら、今後の進むべき方向性を協議した。 観光まちづくり推進事業補助金を1団体に交付した。
成果	ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた後期観光振興計画の進捗を協議し、今後の方向性を決定した。また、観光まちづくりを推進する団体を支援し、新たな観光資源（宮川千本桜ライトアップ）の創出に寄与した。

3. 最終評価

成果の方向性	拡充	(理由) 誘客のためには、体験型ツアーの開発など観光対策の拡充は必要であるため
コストの方向性	拡大	(理由) 新たな観光資源の開発に取り組む組織を支援していくため
今後の方向性	有効性改善	(理由) 法人化後の観光協会と観光事業者等との連携により、観光事業の推進に必要な組織について調査を行う。